

地域連携のためのシーズ

氏名（ふりがな）	今村 晴彦（いまむら はるひこ）		
所 属	大学院（健康栄養科学研究科）	職名	准教授
① ゼミ活動・専門研究の内容			
<p>【ゼミ活動】 公衆衛生学と社会疫学を基盤とした、地域におけるプロジェクトベースの活動を推進。これまで、●保健補導員（健康づくり推進員など）向けの健康学習動画の作成、●長野市の中心地区での「朝ごはん健康づくり」活動（朝食を食べる場をつくって健康づくり・地域づくりにつながる活動）、●県内の特産品（くるみなど）に着目した健康なお菓子の考案、などを実施。</p> <p>【専門研究の内容】 「健康な地域づくり」に取り組む。専門領域は公衆衛生学、実装科学、社会疫学。データサイエンスにも注力（健康データの可視化など）。フィールドワークが持ち味で、これまで長野県をはじめ全国各地において、行政や健康づくりリーダーと協働して、地域住民が健康にいきいきとすごせるための活動やその評価を実施。</p>			
② 自治体や事業者等との連携実績			
<p>【ゼミでの活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東御市「健康づくり推進員活動活性化プロジェクト」(2023 年～) ゼミ生が中心となって制作した動画（高血圧など）を市の健康づくり推進員の研修会で活用し、健康学習を支援。また哲学の教員とともに、健康をテーマとした哲学対話を実施。 <p>【教員個人の代表的な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本市「健康まちづくり」事業の実装研究と地域診断ツール作成(2019 年～) 市が推進する 92 小学校区単位の「健康まちづくり」事業の活性化に向けたデータ分析・調査等の実施、および地域診断ツールとして「校区健康カルテ」を全校区分作成し市 HP で公表。 https://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=31602&class_set_id=3&class_id=563 ・大田区「人生 100 年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト」(2020 年～) 区が保有する各種健康データを 18 地区単位で集計・分析し、健康課題および地区特性の把握と、科学的根拠に基づく保健事業の立案を推進。東邦大学客員講師として参画。 <p>【自治体の委員等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野市連携中枢都市圏ビジョン懇談会 委員(2024 年 9 月～) ・長野市開発審査会 委員（2024 年 4 月～） ・上田市健康づくり推進協議会 委員(2023 年 9 月～) ・長野市総合計画審議会 委員(2023 年 4 月～) ・長野県地域包括ケア市町村伴走型支援事業 支援者(2022 年 4 月～) など ・自治体の研修会講師や勉強会等の実績多数(職員や住民組織向け研修会、データ分析等) 			

③ 今後やってみたい自治体や事業者等との連携内容

- ・「ベストプラクティス」のヨコ展開と評価

地域包括ケアシステム、保健指導員活動等の好事例の分析と普及・実装・評価。

- ・コミュニティ活動の活性化支援と評価

保健指導員、食生活改善推進員、その他のコミュニティ活動の活性化。

- ・公衆衛生×イノベーション

ソーシャル・イノベーションの視点を取り入れた「攻める公衆衛生」の実践およびそのための人材育成。特に、哲学、アート、都市計画など多分野との共同研究や産官学連携事業を推進したいです。